

第1回いなべ市総合計画審議会 会議録

会議名	第1回いなべ市総合計画審議会 (第2次いなべ市総合計画第2期基本計画策定)
開催日時	令和元年5月16日(木) 14:00~15:00
開催場所	いなべ市役所シビックコア 1階 研修室1
出席者	<p>【委員】19名(欠席1名:中澤 政直) 丸山 康人、田中 佳奈、近藤 忠彦、神谷 清、岩花 まつ子、福本 美津子、中村 弘樹、二井 加代子、相田 直隆、小林 久里子、伊藤 和雄、伊藤 由佳、佐藤 忠生、小川 好彦、別所 直樹、水貝 和代、弓矢 孝己、山本 たか代、小川 時生</p> <p>【事務局】15名 副市長、総務部長、市民部長、環境部長、福祉部次長、健康こども部長、農林商工部長、建設部長、教育部長、水道部長、企画部長、政策課長、政策課3名</p> <p>【オブザーバー】1名 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 副市長あいさつ 3. 委員紹介 4. 会長、副会長について 5. 会長あいさつ 6. 説明および報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ①総合計画、人口ビジョン及び総合戦略について…資料1~資料6 ②総合計画策定スケジュールについて…資料7 ③アンケート調査などについて <ul style="list-style-type: none"> ・市民満足度調査…資料8 ・中学生アンケート調査…資料9 ・事業所アンケート調査…資料10 7. 次回の会議について 8. 閉会
配布資料	<p>資料1…いなべ市総合計画・総合戦略について</p> <p>資料2…いなべ市総合計画条例</p> <p>資料3…いなべ市総合計画条例施行規則</p> <p>資料4…いなべ市総合計画審議会の会議に関する指針</p> <p>資料5…まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン、総合戦略について</p> <p>資料6…まち・ひと・しごと創生事業の概要</p> <p>資料7…第2次いなべ市総合戦略・第2次いなべ市総合計画後期基本計画スケジュール(案)</p> <p>資料8…まちづくり市民満足度調査</p> <p>資料9…中学生アンケート</p> <p>資料10…事業者アンケート</p>

公開、 非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1. 開会</p> <p>2. 副市長あいさつ</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>4. 会長、副会長について</p> <p>5. 会長あいさつ 【丸山会長】 皆様と素晴らしい計画をつくりたい。今回は新しい委員の方もおられるようなので、事前に事務局には前回の経緯やこれまでの流れについて、わかりやすく説明してほしいとお願いしている。本格的な検討は次回以降になるが、この後の説明を聞いて、わからないことがあれば質問して頂きたい。 それでは、事務局より資料の説明をお願いします。</p> <p>6. 説明報告事項 【事務局】 ①総合計画、人口ビジョン及び総合戦略について 資料1～6について説明</p> <p>【会長】 質問があればお願いしたい。</p> <p>【委員】 資料1 2頁の「2 人口予測」をみるといなべ市の人口は減少となっている。桑名地区は将来増加傾向と聞いていたが、東員町や桑名市も含めて減少するということが。</p> <p>【事務局】 国では、長期的にみると減少が予測されている旨を説明。 いなべ市においては、直近の国勢調査では0.3%増加している旨や、三重県内の市で人口が増加したのは四日市市と桑名市だけであることを説明。 全国的には減少傾向であり、いなべ市も長期的にみると人口は減少すると予想されているが、ここ数年は様々な政策の推進により、横ばいを維持している旨を説明。</p> <p>【会長】 「資料1. 2 人口予測」の数値は国立社会保障・人口問題研究所が発表した数値か、市独自の推計か。</p> <p>【事務局】 国立社会保障・人口問題研究所の数値である旨を説明。市としては、これを参考に2020年の人口目標数値を44,000人*に設定している旨を説明。 ※第2次いなべ市総合計画の最終年度にあたる2025年の目標数値。いなべ市人口ビジョンでは、さらに先の2040年人口目標を40,000人に設定。</p>	

【会長】

市町村では、人口の目標を検討する際に国立社会保障・人口問題研究所の推計値を参考にする。しかし、減少する推計をそのまま使って計画の目標値とするわけにはいかないので、各自治体で検討のうえ、独自に目標設定をおこなう場合が多い。「資料1. 2 人口予測」の数値がどちらの数値にあたるのかという意味合いで質問させていただいた。
それでは、次の説明をお願いしたい。

【事務局】

②総合計画策定スケジュールについて
資料7について説明

【会長】

質問や意見はあるか。なければ、次にアンケートについて説明をお願いします。

【事務局】

③アンケート調査などについて
資料8～10について説明

【会長】

主に、前回のアンケート結果と今回のアンケートを比較していくという内容である。質問があればお願いします。

【委員】

事業所アンケートは、50人以上の事業所を対象にと説明があったと思うが。

【会長】

アンケートの従業員数の設問に、50人以下を選ぶ選択肢があるが、これは間違いか。

【事務局】

5年前の調査と同様に市内の事業所の無作為抽出で調査をする旨を説明。

【委員】

無作為抽出の対象数はどのくらいか。また、50人以上の事業所はどの程度あるのか。

【事務局】

対象は、一般調査が3,000人、中学生が2年生全員、事業所が50社である旨を説明。
また、従業員が50人以上の事業所データは持ち合わせていない旨を説明。

【委員】

中学生アンケートの設問で、P2問4の選択肢が5年前から変化している内容等があるので、見直しをお願いしたい。

【事務局】

確認して、適切な内容に修正する。

【委員】

事業所アンケートについては50社の抽出とのことだが、無作為抽出だと偏りが生じるのではないか。従業員の少ない事業所も、大規模な事業所もそれぞれの声を聞けるように調整することはできないか。

【事務局】

ご意見をもとに調整させていただく旨を説明。

【会長】

いなべ市は、大企業は少なく、小さな事業所が多い。アンケートで意見を集約すると大企業の意見が埋没してしまうので、それぞれの意見がみえるように工夫をお願いしたい。

では、アンケート以外でも全体でご意見があればお願いしたい。

【会長】

何もしなければ、人口はどんどん減少するので、そのために手を打たなければならない。例えば若い人たちが住みたいと思うまちにするためには、地域でその若い人たちを守ってあげることも必要である。次回の会義からは定住人口を維持し、住みたいと思えるまちにするために、何ができるのかを考えていく機会にしたい。事務局が、これまでに取組んだ事業の結果を示してくれると思うので、皆さんと一緒にチェックしていきたい。かしこまらず、間違ってもいいから忌憚のない意見を頂きたい。本日の資料を持ち帰って読み返し、何かあれば事務局に質問してもらってもよい。委員の皆様には、地域の代表としてこの会議に関わって頂き、いなべ市を人が集まり、今住んでいる人が暮らしやすい環境のまちにしていきたい。

【委員】

人口 40,000 人からが「市」といえると思う。人口 40,000 人を下回らないようにしたい。いなべ市には株式会社デンソー大安製作所やトヨタ車体株式会社いなべ工場等の大企業がある。南海トラフの地震の懸念もあるが、東員町といなべ市は災害に強いと言われている。先人が誘致した大企業に対して、安全ないなべ市ということを PR して、人口を維持してほしい。心配しないで働ける企業がいなべ市にはあるのだということを大切にしてほしい。

【会長】

他にご意見が無ければ、事務局より次回の日程について説明をお願いします。

7. 次回

【事務局】

次回は令和元年 8 月 8 日の 14 時から、いなべ市役所のシビックコアで開催予定である。

8. 閉会

その他事項

無し